

ケアプラン点検の結果について (令和6年度 下半期)

令和6年度下半期 点検結果

ケアプラン点検結果（全体として適正な事項）

- ・アセスメントでは、各項目別に課題が整理されており、利用者ができることや改善できることについてまとめられている。
- ・利用者の意向がケアプランに適切に反映されている。
- ・主介護者やご家族の何気ない発言も丁寧に汲み取り、サービス計画へ反映させている。
- ・介護者と連絡をこまめにとり、状況に応じてサービス回数を増やす等の対応が行われている。
- ・支援経過記録は項目ごとに整理されており、また、ケアプランを変更する際等の判断情報も示されており、わかりやすく丁寧に記載されている。

ケアプラン点検結果（主な指摘事項）

【アセスメント表・フェイスシート】

- ・生活リズムに関する項目の記載がない。
- ・通院医療機関や服薬情報などの記載がない。
- ・既往歴欄に発症年月の記載がない。
- ・転倒した月日について、第1表とアセスメントシートとフェイスシートで、それぞれ日付が異なり、整合性が取れていない。

【第1表（居宅サービス計画書（1））】

- ・認定年月日の記載誤りがあった。
- ・利用者及び家族の生活に対する意向の記載はあるが、それらを踏まえた課題分析がない。
- ・課題分析の結果が本人と家族の意向のみで終わっており課題分析されていない。
- ・「総合的な援助の方針」について、状態像や受診期間の記載はあるが、それらを踏まえた「総合的な援助の方針」が曖昧になっている。
- ・主治医や家族の緊急連絡先の記載がない。

【第2表（居宅サービス計画書（2））】

- ・「長期目標」と「短期目標」の期間設定が同じ期間となっている。
- ・「長期目標」、「短期目標」とともに内容が本人や家族の希望となっている。
- ・「長期目標」と「短期目標」について、同様の内容について言い方を変えた表現になっており、“目標”として不十分である。

【第3表（週間サービス計画表）】

- ・「主な日常生活上の活動」の記載が、「起床」「昼食」「入浴・夕食」のみとなっている。
- ・「週単位以外のサービス」に書くべき事項（住宅改修、福祉用具貸与、短期入所、月1回の通院、家族からの支援など）が記載されていない。

【第4表（サービス担当者会議の要点）】

- ・所属・職種において、正しく記載されていない。
- ・「検討した項目」の欄に担当者会議の流れが記載されている。
- ・必要なサービスの検討状況が記述内容だけではわかりにくいものとなっている。
- ・「残された課題」の記載がない。

【第5表（居宅介護支援経過）】

- ・作成者の氏名が書かれていない。
- ・支援経過の内容について、項目立てがされていない。
- ・個人名の記載があるが何の担当者なのか不明である。
- ・サービス利用しない日の記載がなく、利用票との整合性が取れない箇所がある。
- ・サービス利用開始時のサービス事業所の選定は複数の事業所の中から選んでいるかどうか、記録から読み取れない。

【第6表（サービス利用票（実績が記載されたもの））】

- ・予定のない日にサービスを利用している記載がある。

【その他（モニタリングシート等）】

- ・支援経過記録にて、本人があまり乗り気でない記述があるサービスの利用に関して、モニタリングシートにて「本人・家族の満足度」が「満足」と記載されている。評価欄がしっかり機能しているのか疑問が残る。
- ・モニタリングシートの短期目標の評価項目において、福祉用具などのサービス内容に関する記載がない。